

## 第23回国際言語学オリンピック

ルーマニア・ブカレスト、2026年7月26日～8月2日

団体戦 問題

サポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言はオト・マンゲ語族の西部トラコルーラ谷方言連続体に属す。メキシコのオアハカ盆地で約5000人が使用している。テオティトラン・デル・バジェには、**Kresěnsy**「クレセンシオ」という人物に関する伝説がある。彼は敬意を込めて**dāKrésěnsy**「ドン・クレセンシオ」と呼ばれており、テオティトラン・デル・バジェのすぐ北に位置するシエラノルテという山岳地帯の出身である。彼は、ワシから風に至るまで、彼が精神を征服したあらゆる事物に自由自在に変身でき、裕福な者から盗んで貧しい者に分け与えていた。

サポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言では、母音の声調が意味を区別する（低：無標；中：◌̈；高：◌̊；上昇：◌̋；下降：◌̌）。たとえば**bell**「蛇、魚」は低音調、**bēll**「もし」は中音調、**béll**「何個、いくらのお金」は高音調を持つ。母音は空気の流れによっても区別される（通常：無標；部分的な閉鎖：◌̣；完全な閉鎖：◌̤）。母音の声調と空気の流れは、周辺の音や一定の音韻プロセスなど多様な要因によって変わることがある。たとえば、空気の流れが制限されていると高音調を維持することが困難になるため、声調が下降調に変化する。別の例は**Kresěnsy**と**dāKrésěnsy**の名を比較してみるとわかる。

△ **r** = 「タラ」の「ラ」の子音。**rr**は**r**がふるえ音化したもの。**x** = 「シャ」の子音。**xh** = 英語 *vision* の *s*。**tx** = 英語 *match* の *tch*。**dx** = 英語 *jam* の *j*。**y** = 「ヤ」の子音。**e** = 英語 *bait* の *ai*。**ε** = 英語 *bet* の *e*。



Map data ©2026 Google, INEGI

## 第1部.

本部分では、ギジェルミナ・バウティスタ・ロレンソ夫人によるドン・クレセンシオの物語の再話に着目する。記録・転写は内原洋人とアンブロシオ・グティエレス・ロレンソによるものである。訳中、下線で示される単語や句は強調を表す。直接話法を含む文については、話者は（訳中においてのみ）カッコで表示されている。サポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言では、コンマは発話における長い休止を、空白は短い休止を表す。

物語は3ページに順不同で与えられており、その訳は4ページに時系列順で与えられている。物語は2つの部分に分かれている。物語の前半は訳1-17または文A-Qに対応する。物語の後半は訳18-41または文AA-RRに対応する；ただし、物語後半の訳のうち6つは対応するサポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言の文が欠けている。

サポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言の文にはいくつか借用語が含まれており、各借用語の訳の後ろに斜体下付き文字で表示されている。たとえば、「裕福<sub>rico</sub>」は「裕福」に対応するサポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言の単語が<sub>rico</sub>からの借用であることを意味する。

以下の借用語はスペイン語に由来する：

- |                             |                           |                         |
|-----------------------------|---------------------------|-------------------------|
| ・「ロバ」 < <i>burro</i> ；      | ・「使用人」 < <i>mozo</i> ；    | ・「裕福」 < <i>rico</i> ；   |
| ・「さらに、～まで」 < <i>hasta</i> ； | ・「貧しい」 < <i>pobre</i> ；   | ・「週間」 < <i>semana</i> ； |
| ・「時、時間」 < <i>hora</i> ；     | ・「理由、目的」 < <i>razón</i> ； | ・「店」 < <i>tienda</i> 。  |

△  $\left. \begin{array}{l} \text{burroでの} rr \\ \text{razón、ricoでの} r \end{array} \right\}$  は $r$ がふるえ音化したもの。*hora*、*pobre*での $r$  = 「タラ」の「ラ」の子音。 $c$  = 「ク」の子音。 $z$  = 「ス」の子音。 $h$ は無音。

以下の借用語はナワトル語に由来する：「メスカル」 < *mexcalli*。

△  $x$  = 「シャ」の子音。 $c$  = 「ク」の子音。

メスカルはアガベの植物を原料とする酒の一種。  
オアハカ市はメキシコのオアハカ州の州都。

- (a) 訳1-17がそれぞれ文A-Qのうちどれに対応するか明らかにしなさい。
- (b) 訳18-41がそれぞれ文AA-RRのうちどれに対応するか明らかにしなさい。対応する原文がない場合は、「なし」と書きなさい。
- (c) 対応する文が欠けている6つの訳について、サポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言で対応する文を書きなさい。訳はどの順番で書いてもよいが、対応する訳の番号18-41を必ず明記すること。

△ 文A–Qは訳1–17に対応する。

- A. Gāxhbālūyān lādān xáridyε maskály.
- B. Gāxhgúnñi dāKrésěnsy, xhí txítô'n, xhí txítô'n maskálykán Llŵá'.
- C. Gāxhzé dāKrésěnsy nez Llŵá' zétā'wān máskálykī, zénēn dxmúsān txírúdxpúrrān.
- D. Gazūb xsilytε retyug dāKrésěnsy dūb térugwāyān.
- E. Gūlgúgwā dbúrr maskálykán. Gūlgúgwā lādúm maskálykán.
- F. Gullikā yúbyú, zilytε maskály rayápún, xhí txítô'nēn Llŵá'.
- G. Komnā'tē rizākān rūnyān zūynkī tūzyān, gūdīlyān tāt mūs gáknē lān.
- H. Kresěnsy bidyélān.
- I. Lē'n dāyn gáxyga logedxrē' gūbānyān.
- J. Lē'n teges rô'wtε rugwāyānén.
- K. Maskály batā'wān gáxhtxī'nga, txī'nga gūpān mědy.
- L. Nā dūdxbā.
- M. Rrīkwte guk dāKrésěnsy kommaskály gulēn.
- N. Txianā tyóp xmán kánēn lādān, zilytε maskály ákábēdān.
- O. Txikytε gunñdān gūbāyn tébēnny nírak ryak bi.
- P. Zēky rūnyān gáxhribēn máskály.
- Q. Zittε mědy gūpān, zittε mědy gūpān.

△ 文AA–RRおよび欠けている6つの文は訳18–41に対応する。

- AA. Bāgály nāin?
- BB. Gāxhgúrki byāk dāKrésěnsy tebidun rô'wtε.
- CC. Gāxhwénēn dxmúsān tédyēnd rô'wtε tésīdān xígyēnēdān.
- DD. Gūltū', gūltū'. Tiptε nā bídunkán.
- EE. Maskály bānyān téretā'wānén Llŵá'.
- FF. Nā'tē gū dūxpúrrun, nā'tē gū dūxpúrrun.
- GG. Rēky bákātsān txī'n xmēdyān.
- HH. Targū'ntū gūltū', targū'ntū gūltū'.
  - II. Txibazūyndān lē'n dyēnd rô'wtēkī, gāxhgúnñi dāKrésěnsy, gūlkā' rátε nirikāztū txírúgūlgúgwāin dūxpúrrun.
  - JJ. TxigūkdāKrésěnsy bēngúl, lē'n dā:yn gūbānyān.
- KK. Txirútxiáruguyn kixhān gáxhryākān bídun, tékēdtúrúđēddi xsón xúr ridyēñ lē'n dyēndkī.
- LL. Txī'n niribān dāKrésěnsykī rūtā'wān Llŵá'.
- MM. Xtxī'nīn rīgīzyān rīkā' dxmúsān.
- NN. Xtxī'nīn rúđēdān dbēnny prúb nirādxāgān txiázyén.
- OO. Zēky gūk xkālbānyān.
- PP. Zēky rūnyān tékēdrīgīxhdyān rátε nirizyēn, komaxt nākāytε rak txiryākān bídun.
- QQ. Zittε mědy rāpā', zittε mědy rāpā', zyēntε bēnny zāk gáknē.
- RR. Zyēntε xīndēky yū' rē, gūlkā', gūlkā' rátε nitxíka dūxpúrrun, gūlkā'.

△ 訳1-17は文A-Qに対応する。

(1) 遠い昔、風に変身することができる人物がいたと彼らは言った。(2) 彼はこの村の近くにある丘の上で暮らした。(3) 彼の名はクレセンシオであった。(4) ドン・クレセンシオはメスカル *mexcalli* を生産したためとても裕福 *rico* になった。(5) 彼はメスカル *mexcalli* を売り、それから、少しずつ、少しずつお金を持った。(6) 彼は大量のお金を有した。彼は大量のお金を有した。(7) ある非常に早い朝には、ドン・クレセンシオは煮るためのアガベを切りに行った(直訳: 行って、煮るためのアガベを切った)ものだ。(8) 彼はとても大きな鍋でそれを煮たものだ。(9) このようにして、それから、彼はメスカル *mexcalli* を生産したものだ。(10) 彼は一人でその(前述の)仕事をするのがとても重いと思ったものだから、彼は彼を助けることのできる4人の使用人 *mozo* を探した。(11) それから、彼は彼らにメスカル *mexcalli* を生産するやり方を教えた。(12) 彼らを共に2週間 *semana* 連れて行っていた後、彼らはすでに大量のメスカル *mexcalli* を生産していた。(13) それから、ドン・クレセンシオは言った:「明日、私たちは行って、売ることができる。明日、私たちは行って、あの(近くの)メスカル *mexcalli* をオアハカ市で売ることができる。」(14) (使用人)「あなたの言うとおりで。私たちは大量のメスカル *mexcalli* を有する。明日、私たちは行って、それをオアハカ市で売ることができる。」(15) (ドン・クレセンシオ)「ロバ *burro* たちにあの(近くの)メスカル *mexcalli* を積みなさい。それらにあの(近くの)メスカル *mexcalli* を積みなさい。」(16) それから、ドン・クレセンシオはオアハカ市に行っていて、その(前述の)メスカル *mexcalli* を売っていて、彼の使用人 *mozo* たちとロバ *burro* たちを連れて行っていた(直訳: 行っていて、連れていた)。(17) さて、[あれが]その物語である。

△ 訳18-41は文AA-RRおよび欠けている6つの文に対応する。

(18) 彼がオアハカ市に着いたとき、彼はその(前述の)メスカル *mexcalli* を売った。(19) それから、彼は彼の使用人 *mozo* たちを彼らが連れ帰ることができるものを買うことができるように非常に大きな店 *tienda* に連れて行った。(20) 彼らがその(前述の)非常に大きな店 *tienda* の中に着いたとき、それから、ドン・クレセンシオは言った:「あなたたちの欲しい全てのものを持っていき、私たちのロバ *burro* たちに積みなさい。」(21) (使用人)「ここには大量の品物がある。持っていきなさい。私たちのロバ *burro* たちが載せることができる全てのものを持っていきなさい。持っていきなさい。」(22) (使用人)「私たちのロバ *burro* たちは非常に重い[もの]を運ぶことができる。私たちのロバ *burro* たちは非常に重い[もの]を運ぶことができる。」(23) (ドン・クレセンシオ)「それはいくらか?」(24) それから、その(前述の)瞬間 *hora* に、ドン・クレセンシオは非常に大きなつむじ風に変身した。(25) 彼はその(前述の)店 *tienda* の中で非常に大きなつむじ風に変身した。(26) 彼は自分が買った全てのものの代金を支払わないように、このようにしたものだ、彼がつむじ風に変身するたびに、さらに *hasta* 非常に暗くなるものだからだ。(27) (ドン・クレセンシオ)「速く、行こう。速く、行こう。」(28) (使用人)「行こう。行こう。あの(近くの)つむじ風はとても強い。」(29) その(前述の)ドン・クレセンシオが盗んだもののなかの少しを、彼はオアハカ市で売ったものだ。(30) 彼はもう少し多く[のもの]を分け与え、彼の使用人 *mozo* たちが[それを]持っていったものだ。(31) 彼は彼がすでに帰って行っていたとき会おう貧しい *pobre* 人々にももう少し多く[のもの]を与えたものだ。(32) 彼の生涯はこのようであった。(33) ドン・クレセンシオの生涯はこのようであった。(34) 彼は行って、オアハカ市でそれを売るようにメスカル *mexcalli* を造った。(35) 彼はそこに行って、持ち帰ることができる品物を持ってきたものだ。(36) そして彼が支払いをしようとしたとき、それから、誰も彼がその(前述の)店 *tienda* をいつ *hora* 出たか気づか(直訳: 理致 *razón* を与え)ないように、彼はつむじ風に変身したものだ。(37) (ドン・クレセンシオ)「私は大量のお金を有する。私は大量のお金を有する。私は大量の人を助けることができるだろう。」(38) (使用人)「ドン・クレセンシオは大量のお金を有する。」(39) ドン・クレセンシオは老人になったとき、丘の上で暮らした。(40) 彼はそこに彼のお金の一部を隠した。(41) 人々は彼がこの村にもう少し多く[のもの]を隠したと言ったものだ。

## 第2部.

本部分では、アナ・ゴンザレス・グティエレスによるドン・クレセンシオの物語の再話に着目する。記録は侯沐陽（作問者）とガブリエル・スワイによるものである。彼ら二人は外国人のため、「私たちの」は聞き手を含めていない。しかしながら、物語は若干くだけた口調になっているが、これは彼らが録音時にアナとすでに親しい関係であったためである。

物語は時系列順に与えられているが、訳は順不同で与えられている。一部の訳は欠けている。さらに、強調を表す下線は訳から省略されている。

以下の借用語はスペイン語に由来する：「センターボ、1文、お金」< <sup>もん</sup>centavo；「手段」< modo；「けれども」< <sup>もん</sup>pero。センターボ（centavo）は価値がとても小さい硬貨で、1文に類似する。

- (d) 文1-11がそれぞれ訳A-Fのどれに対応するか明らかにしなさい。対応する訳がない場合は、「なし」と書きなさい。
- (e) 訳A-F中、下線をつける必要のある単語または語句を示しなさい。強調されている単語または語句が訳中にない場合は、「なし」と書きなさい。
- (f) 残りの文5つを訳しなさい。強調される単語または語句があれば、下線をつけなさい。訳はどの順番で書いてもよいが、対応する訳の番号1-11を必ず明記すること。

(1) Binnyetrê', nā, rinnīdān lān Krēsēnsy. (2) Lān nān tébinnyet, rāknēn bēnny prub. (3) Txiazēdān yū' rē rikīnān séntāb. (4) Per lān kédráxhyēldyān témudx kanáknēn dūsō'n. (5) Lān ná txyākān bí, dyēkān bísyē. (6) Āx zéky ná nírīnnyān lódūsō'n nírīxhī' séntāb. (7) Āx zéky ná nībēllryākān bí. (8) Āx térākān séntābkī lōdān térudēdānén dūsā' prūbūn. (9) Dūsō'n nīrākīn téseñtāb kannāb bēllrákxhūdān bēll. (10) Lān gyēbā, gyēn rāknēn dūsā' prūbūn. (11) Āx zéky ná tédīdx xtē binnyetrê' nīgūknē dúgālbāyn xtē dūsō'n nīrikīn dūnún.

- A. そして、私たちの共同体にお金 <sup>もん</sup>centavo が手に入った（直訳: 絞りとされた）ものだと言ったものである彼はこのようであった。
- B. けれども <sup>もん</sup>pero 彼は私たちの共同体を助ける方法 <sup>もん</sup>modo を見つけなかったものだ。
- C. たった1文 <sup>もん</sup>centavo しか稼げないものである私たちの共同体が、たとえいくらお金を求めていたとしても、もし彼らが病気になったものなら...
- D. こんな人物がいる...人々は彼の名はクレセンシオであると言ったものだ。
- E. 彼がここに留まりにすでに来ていたとき、お金 <sup>もん</sup>centavo が必要とされたものだ。
- F. ... そして、彼が私たちの貧しい <sup>もん</sup>pobre 共同体にそれを与えるように、その（前述の）お金 <sup>もん</sup>centavo を彼らのために稼ぐように。

### 第3部.

本部分では、サポテク語テオティトラン・デル・バジェ方言の動詞形態論の一部に着目する。一連の動詞が3通りの形式で与えられている：主語のない基底形と、1人称および3人称の単数主語を持つ2通りの形式である。便宜上、基底形では、接頭辞は動詞語根からハイフン（-）で区切られている。一部の形式では、先行する接頭辞が直後の母音に高音調を付与することを表示するため、ハイフン（-）の上に高音調を置く。ゼロ標識（∅）は音を追加することなく意味が加えられることを表す。1人称単数形の意味は順不同で与えられている。 $x$ は物事や人物、場所を表す。

|     | 基底形       | 1人称単数    | 3人称単数     |
|-----|-----------|----------|-----------|
| 1.  | b-a-dxāg  | badxāgá  | badxāgān  |
| 2.  | b-a-txa   | batxâ    | bātxān    |
| 3.  | bi-dxiby  | bidxībya | bidxībyān |
| 4.  | bi-dyē    | bidyē    | bidyēn    |
| 5.  | g-a'-dxāg | gadxāgá  | gadxāgān  |
| 6.  | g-u'-sēd  | gusēda   | gusēdān   |
| 7.  | g-u'-txa  | gutxâ    | gutxān    |
| 8.  | gu-bix    | gubixa   | gubīxān   |
| 9.  | gu-gizh   | gugīzha  | gugīzhān  |
| 10. | gu-llyān  | gūllyāná | gūllyānān |
| 11. | gu-tyes   | gutyēsá  | gutyēsān  |
| 12. | gu-zī     | guzyě    | gūzyēn    |
| 13. | r-a-dxāg  | radxāgá  | radxāgān  |
| 14. | r-u-sēd   | rusēda   | rusēdān   |
| 15. | r-u-txa   | rutxâ    | rūtxān    |
| 16. | ri-bāyn   | ribānyá  | ribānyān  |
| 17. | ri-dxiby  | ridxībya | ridxībyān |
| 18. | ∅-dyē     | dyē      | dyēn      |
| 19. | ∅-llyān   | llyāná   | llyānān   |
| 20. | ∅-tyes    | tyésá    | tyēsān    |

|    | 1人称単数形の意味         |
|----|-------------------|
| A. | 私は $x$ を（完全に）買った  |
| B. | 私は腹を空かせることができる    |
| C. | 私は $x$ を埋めることができる |
| D. | 私は跳ねることができる       |
| E. | 私は $x$ を離れることができる |
| F. | 私は $x$ に会うことができる  |
| G. | 私は $x$ を学ぶことができる  |
| H. | 私は $x$ を（完全に）埋めた  |
| I. | 私は $x$ を（しばしば）埋める |
| J. | 私は（しばしば）恐れる       |
| K. | 私は（完全に）恐れた        |
| L. | 私は（完全に）跳ねた        |
| M. | 私は $x$ を（完全に）離れた  |
| N. | 私は（しばしば）暮らす       |
| O. | 私は $x$ に（しばしば）会う  |
| P. | 私は $x$ に（完全に）会った  |
| Q. | 私は $x$ を（完全に）支払った |
| R. | 私は $x$ を（しばしば）学ぶ  |
| S. | 私は（完全に）腹をすかせた     |
| T. | 私は（完全に）振り向かされた    |

(g) 動詞セット1-20がそれぞれ一人称単数形A-Tのうちどれに対応するか明らかにしなさい。

以下に1人称単数形の意味が「私は（しばしば）待つ」と「私は（しばしば）ある状況になる」の二つの動詞の形式のセットが別々の順番で示されている。上で示したように、一部の動詞はその意味に応じて1人称単数主語とともに追加の変化を起こす。下の動詞のうち一つがまさにこれに該当する。

| 基底形    | 1人称単数  | 3人称単数   |
|--------|--------|---------|
| ri-bēz | ribēzá | rībēzán |
| ri-bēz | rībēzá | rībēzán |

- (h) どのセットがどの意味に対応するか明らかにしなさい。1人称形式がどのように派生したか説明しなさい。
- (i) 訳21-30に対応するサポテク語テオティラン・デル・バジェ方言の動詞の形式を書きなさい。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 21. 彼は恐れることができる      | 26. 私は振り向かされることができる  |
| 22. 彼は暮らすことができる      | 27. 私は恐れることができる      |
| 23. 彼は（しばしば）跳ねる      | 28. 私は暮らすことができる      |
| 24. 彼は $x$ を（完全に）学んだ | 29. 私は（しばしば）跳ねる      |
| 25. 私は（しばしば）腹をすかせる   | 30. 私は $x$ を（完全に）学んだ |

- (j) 訳31-35に対応するサポテク語テオティラン・デル・バジェ方言の文を書きなさい。単語や句を複数通りに翻訳できる場合は、第1部に登場する最も正式な表現を使いなさい。

31. 遠い昔、私は北で暮らしたが、それから、私はこの村に着いた。
32. 私はその（前述の）村の近くでワシとヘビに出会った後、それらに変身できるようになった。
33. けれども私がそうしたものであるとき、私は彼らが欲する全てのものを欲したものだ。
34. 太陽が昇るたびに、私は西で裕福な人々のお金を盗んだものだ。
35. そして、太陽が沈むたびに、私は私の共同体が暮らすことができるように、そのお金を東に隠したものだ。

—コウ・モクヨウ（侯沐陽）、ニナ・スタダーマン

編集者：サミュエル・アーメッド、ボリス・イオムディン、クセーニヤ・ギリャロワ、  
スタニスラフ・グレーヴィチ、ドミートリー・ゲラシモフ、コウ・モクヨウ（侯沐陽）、  
佐藤和音、アイーダ・ダブレトヴァ、イヴァン・デルジャンスキー（技術編集者）、  
アナ・メタ・ドリナール、アンドレイ・ニクリン、アレクサンドル・ピペルスキー、  
ブラシコヴィチ・アーコシ、ミハイ＝アレクサンドル・ブラトゥ、アレクセイ・ペグシエフ、  
ヤン・ペトル、ダン＝ミルチャ・ミレア（編集長）、ブルーノ・ラストリナ、  
マリヤ・ルービンシュタイン、エリシア・ワーナー、ミレナ・ヴェネヴァ。

日本語のテキスト：佐藤和音（校正者：ジェラルド・スミス、スミス レイチェル）。

健闘を祈ります！

第23回国際言語学オリンピック

ルーマニア・ブカレスト、2026年7月26日～8月2日

解答用紙：チーム\_\_\_\_\_

(a)

|     |     |     |     |     |     |     |     |    |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 1.  | 2.  | 3.  | 4.  | 5.  | 6.  | 7.  | 8.  | 9. |
| 10. | 11. | 12. | 13. | 14. | 15. | 16. | 17. |    |

(b)

|     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 18. | 19. | 20. | 21. | 22. | 23. | 24. | 25. |
| 26. | 27. | 28. | 29. | 30. | 31. | 32. | 33. |
| 34. | 35. | 36. | 37. | 38. | 39. | 40. | 41. |

(c) 訳はどの順番で書いてもよいが、対応する訳の番号18-41を必ず明記すること。

.

.

.

.

.

.

(d)

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | 6. | 7. | 8. | 9. | 10. | 11. |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|

(e)

|    |    |    |
|----|----|----|
| A. | B. | C. |
| D. | E. | F. |

解答用紙：チーム \_\_\_\_\_

- (f) 訳はどの順番で書いてもよいが、対応する訳の番号1-11を必ず明記すること。

\_\_\_\_\_.

\_\_\_\_\_.

\_\_\_\_\_.

\_\_\_\_\_.

\_\_\_\_\_.

- (g)

|     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1.  | 2.  | 3.  | 4.  | 5.  | 6.  | 7.  | 8.  | 9.  | 10. |
| 11. | 12. | 13. | 14. | 15. | 16. | 17. | 18. | 19. | 20. |

- (h) どのセットがどの意味に対応するか明らかにしなさい。1人称形式がどのように派生したか説明しなさい。

- (i)

|     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 21. | 22. | 23. | 24. | 25. |
| 26. | 27. | 28. | 29. | 30. |

- (j)

31. \_\_\_\_\_

32. \_\_\_\_\_

33. \_\_\_\_\_

34. \_\_\_\_\_

35. \_\_\_\_\_

△ 設問への答え以外の追加説明は必要なく、採点もされない。